



道内企業のM&A支援

金沢の仲介会社 年内に道支社開設

企業の合併・買収(M&A)の仲介を手掛けるスターシップホールディングス(金沢市)は9日、北海道支社を札幌市内に年内にも開設することを明らかにした。道内には、社長職や資産を後継者に引き継ぐ「事業承継」に悩む経営者が多い一方、M&Aの仲介業者は少なく、潜在需要が大きいと判断した。

後継者がいない中小企業と、事業拡大を旨とだけでなく、道内企業と、正社員は道内から採用して10人程度まで増やす計画。これまでに

増駐させる。5年後を指す企業などの橋渡しと北陸、東京の企業と、開設当初は1人をやす計画。これまでに

つながらのある道内の税理士や経営コンサルタントから企業情報を得るほか、M&Aを選んだ元経営者らが体験を語るセミナーを開く予定だ。同社は2006年、金沢市で設立。本社のほか東京オフィスがあり、これまで160件のM&Aを成立させた。島崎伸社長は「双方向に利益のあるM&Aを提案していきたい」と話す。

また、北洋銀行や北海道銀行など道内金融機関も取引先の手続き強化しており、会計事務所などの協力も得て、M&A仲介などを行っている。

また、北洋銀行や北海道銀行など道内金融機関も取引先の手続き強化しており、会計事務所などの協力も得て、M&A仲介などを行っている。